



Shikoku  
Cancer Center News  
No.94

# 四国がんセンター ニュース



2026  
春の号

基本理念 患者さんの立場にたち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します。



(大洲市平野町 (日浦つづじ園) 撮影: 俊野 健治)

## 院長就任のご挨拶

4月より院長を拝命いたしました藤山と申します。前院長のもとで築き上げられた質の高いがん医療を引き継ぎ、さらなる発展を目指すとともに、がんのこと、がん医療のこと、がんと共に自分らしく生きることについて、地域の皆さまへ丁寧にお伝えしていけるよう努めてまいります。

さて、当院は今、二つの大きな変化に向き合っています。一つは、人口減少に伴う医療を取り巻く環境の変化です。若い世代の減少により、医療を支える人材の確保は大きな課題となっており、多くの医療機関がこれまでの体制を維持することが難しくなっています。当院でも、将来を見据えて一部病棟の再編を行いました。こうした変化は個々の病院だけで対応できる問題ではなく、地域全体でこれからの医療提供のあり方を考えていく必要があることを示しています。また、国のがん対策推進基本計画においても、2040年を見据え一部のがん医療の集約化を進める方向性が示されています。四国で唯一のがん専門病院である当院は、環境の変化に対応しながら、専門性の高い医療を提供するという役割をこれまで以上に果たしていかなければなりません。

もう一つは、病院経営を取り巻く環境の厳しさです。近年、物価の上昇や人件費の増加により、多くの医療機関で運営の負担が大きくなっています。一方で、医療機関の収入の仕組みは

国によって定められており、病院が自由に変えることができません。2026年の診療報酬改定では一定の前進が見られたものの、依然として楽観視できる状況ではないのが実情です。当院は診療収益をもとに運営しているため、医療機器や設備の更新、建物の改修、新たな取り組みを進めていくうえでも、安定した運営基盤が欠かせません。必要な医療を継続して提供しながら、経営面ではこれまで以上の工夫と努力を重ねています。

そのような中、当院のがん医療を力強く支えてくださる「寄付」という温かいご支援をいただく機会が増えております。当院ではホームページに寄付のお願いを掲載し、外来に寄付者銘板を設置いたしました。今号の「がんセンターニュース」からは、お寄せいただいた温かいご支援への感謝をお伝えるコーナーも新設しております。皆さまからの応援は、職員にとって何よりの励みとなり、より良い医療環境をつくる大きな原動力となります。

これからもがん専門病院としての役割と価値を大切にしながら、職員一同、地域の皆さまに信頼され、応援いただける病院であり続けるよう努めてまいります。今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



(院長 藤山 幹子)



# がん治療

# 最前線

## 前立腺がん診療がさらに進化しました

— 当院でPSMA PETとルテチウム治療が本格始動 —

前立腺がんは早期発見で治癒が期待できる一方、再発する方や診断時に転移を認めるケースもあります。近年の薬物療法の進歩によって、再発や転移に対する治療の幅は広がりましたが、「病変をより正確に把握したい」「がんだけを選択的に治療したい」という課題は残っていました。

こうした中、当院では昨年ご紹介した PSMA-PET と ルテチウム治療 (Lu-PSMA) を、2025年12月・2026年2月よりそれぞれ開始し、新しい前立腺がん治療が本格的に動き始めています。

### ◆ PSMA-PET 検査 (2025年12月開始)

PSMA-PETは、前立腺がん細胞に多く発現するPSMAを標的に病変を描出するPET検査です。小さな病変の検出に優れる一方、日本では“PSMA標的治療の適応判定の補助”としてのみ承認されております。特に、ルテチウム治療を行う際、PSMA陽性病変が存在するかどうかを確認するための必須検査として位置付けられています。愛媛県では、主だった施設で検討し、PSMA-PETは当院で集約して行うことになりました。

### ◆ ルテチウム治療 (Lu-PSMA) (2026年2月開始)

ルテチウム治療は、PSMAに結合する薬剤に放射性物質ルテチウム<sup>177</sup>を結びつけ、PSMA陽性のがん細胞に集まった薬剤が内側からβ線を放出し破壊する治療です。正常組織には結合しにくいため、負担を抑えつつ全身転移にも対応できる点が特徴です。

### ◆ 当院での体制

当院は、四国内でいち早くPSMA-PETとルテチウム治療を導入しました。愛媛県内において、当院以外では愛媛大学と愛媛県立中央病院でルテチウム治療が受けられます。前述のとおり、PSMA-PETは当院が担っていますので、当院ではルテチウム治療まで一貫して行えます。ルテチウム治療は、専門設備・放射線管理体制・専用病室など高度な整備が必要であり、実施可能施設は限られます。当院では日本核医学会が定める基準に沿い、安全管理体制や放射線防護、専用区域の整備を完備し、患者さんが安心して治療を受けられる環境を構築しています。さらに、PSMA-PET → 適応判定 → ルテチウム治療 → 経過観察までを院内で完結できるため、患者さんの移動や紹介の手間が大幅に軽減されます。泌尿器科・放射線治療科が連携し、最適な治療方針を患者さんに提供しています。

### ◆ ご相談ください

前立腺がん診療は、新しい段階へと進んでいます。PSMA-PETとルテチウム治療は、厳密な適応のもとで行われる革新的治療です。ご興味のある方や治療でお悩みの方は、がん相談支援センターまでご相談ください。

(泌尿器科医長 辻岡 卓也)



## 治験 CHIKEN CORNER

ちけん

「当院では治験を実施しています」

こちらは、治験・臨床試験支援室です。このコーナーでは、ただ今、参加者募集中の治験等の情報を提供しています。なお、当院HPにて、詳細情報を公開中です。



[https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical\\_trial\\_during\\_the\\_experiment/](https://shikoku-cc.hosp.go.jp/rinsyo/trial/clinical_trial_during_the_experiment/)

### ● 現在参加者募集中の治験等情報

下記の件数は企業治験、医師主導治験、製造販売後臨床試験の「現在参加者募集中の治験等情報」です。

- 固形癌 ……………11件
- 消化管間質腫瘍 ……1件
- リンパ腫 ……………3件
- 頭頸部がん ……………1件
- 胃癌 ……………4件
- 消化器神経内分泌癌 …1件
- 卵巣癌 ……………4件
- (令和8年3月5日現在)
- 食道癌 ……………2件
- 肺癌 ……………23件
- 子宮体癌 ……………3件
- 子宮頸癌 ……………1件
- 大腸癌 ……………3件
- 前立腺癌 ……………6件
- 乳癌 ……………7件
- 胆道癌 ……………2件
- 膀胱がん ……………1件

がん診療において、各種がん治療（抗がん剤、手術、放射線、免疫療法）やがん自体の影響のため患者さんの免疫力が低下し、感染症に罹りやすくなることが知られています。適切な感染症対策を行うことは、がん治療を安全に行うための大切なポイントです。

さらに感染症の問題は世界的な健康危機として認識されています。新型コロナウイルス感染症が瞬く間に全世界に広がり、私たちの生活に大きな影響を与えたことはみなさまご存じのとおりです。

感染症の危険を減らし安全にがん治療を受けていただけるよう、感染症・腫瘍内科は感染制御チームICT/ASTと連携し、がん治療に伴う感染症に対し様々な対策を行っています。具体的な活動としては、毎日モーニングカンファレンスを行い、各科から提出された培養検査を確認し専門的な視点から感染症の治療方針を提案しています。また定期的に院内ラウンドを行い抗菌薬の適正使用について各診療科に提案を行います。

病院間の連携では感染対策向上加算1施設の資格を有し、連携する施設と定期的な相互交流、相互評価を行っています。

2024年度から新たにワクチン外来を開設

しました。がん治療において必要とされるワクチンを遅滞なく接種頂けるよう、ワクチンで予防できる感染症いわゆるVaccine-Preventable Diseasesに対する適切なワクチン接種を提案しています。

このような実績が評価され、四国がんセンターは日本感染症学会認定研修施設の資格を得ています。

患者さんが安心してがん治療を受けることができるよう、感染症に強いがんセンターを目指し感染症・腫瘍内科は活動していきます。

（感染制御部長 濱田 信）



院内ラウンド（抗菌薬適正使用ラウンド）



四国がんセンターInstagramに掲載したワクチン外来のお知らせ



## エキスパートナース・メディカルスタッフ

EXPERT NURSE・MEDICAL STAFF

Part.70

### マンモグラフィに新装置を導入しました！

当院ではマンモグラフィ装置を2台設置していますが、2025年5月にそのうち1台を新しい機種へ更新し、「トモシンセシス撮影」が可能になりました。

トモシンセシスは、乳房を薄い断面の画像として撮影し、細かく観察できる方法です。乳腺の重なりを減らすことで病変を見つけやすくなるのが特徴です。日本人女性に多いとされる高濃度乳房では、従来のマンモグラフィでは乳腺の重なりによって病変が隠れてしまうことがありますが、トモシンセシスでは正常な乳腺と病変の区別がしやすくなります。

撮影の流れはこれまでのマンモグラフィとほとんど変わらず、乳房の圧迫も同じです。撮影中にX線管球がゆっくり動くため、1回の圧迫時間が約10秒長くなりますが、被ばく量は従来とほぼ変わらず、安心して検査を受けていただけます。

また、マンモトーム生検にもトモシンセシスを活用しており、病変の位置をより正確に特定できるようになったことで、検査の精度向上と検査時間の短縮にもつながっています。

今後当院では、乳がん検診外来（自費）の開始を予定しています。乳がんは早期に発見することで治療の選択肢が広がり、治る可能性が大きく高まります。「今は気になる症状がないから」と思っている方も、検診を受けることで安心につながります。この機会にぜひ受診をご検討ください。

マンモグラフィに対して「痛そう」「怖い」と不安を感じる方も多くいらっしゃいます。痛みが強いときやご不安がある場合は、どうぞ遠慮なくお声かけください。女性スタッフが丁寧にサポートいたします。

（放射線科 大野 るり）



# 暖だん イベント情報



四国がんセンター 暖だんでは毎月様々なセミナーやイベントを企画、開催しています。今回はその中から5月、6月に開催予定の2つの企画についてのご案内をします。

まず5月26日(火) 13:30~14:15に開催予定の【知って安心! 高額療養費制度】です。

がんの治療は、抗がん剤や手術、放射線治療など医療費が高額になることがあります。公的な制度である高額療養費制度とは、医療費の窓口負担が高くなりすぎないように、ひと月の医療費の上限額を定めて負担を軽減してくれる制度です。2026年度には段階的に負担上限額が引き上げられる予定となっており、皆さんも気になる制度なのではないでしょうか。ぜひこの機会に最新の制度について一緒に学んでみましょう。講師は、医療に関する様々な不安や生活上の困りごとを、社会福祉の視点から支援する専門家の医療ソーシャルワーカー(MSW)です。当院ではがんに関するさまざまな困りごとに対応できる窓口として「がん相談支援センター」があり、医療ソーシャルワーカーもこちらで皆さんからのご相談をお受けしています。病院の中の相談員から直接お話が聞けるよい機会です。ぜひご参加ください。

次に6月16日(火) 14:00~14:40 理学療法士より【がんのリハビリテーション医療】を開催します。通常のリハビリテーション医療は、体に何らかの障がいが出てから受けるのが一般的です。一方、がんのリハビリテーション医療では、がんと診断された後、治療による合併症や後遺症などを予防する目的で、治療が始まる前、あるいは治療を受けた直後から行われることがあります(予防的リハビリテーション)。このように予防が重視されていることが、ほかの分野のリハビリテーション医療とは大きく異なる点です。今回は講義でがんのリハビリテーションについて学びを深めた後、無理のない範囲で実際に運動療法を体験する時間をご用意しています。リハビリテーションの専門職からがんのリハビリテーションについて正しく学んでみませんか。

5月、6月にはご紹介したセミナー以外の企画もご用意しております。1年を通してたくさんのセミナー・イベント・サロンを開催しますので、暖だんのホームページやSNS(インスタグラム・facebook)、外来に掲示しておりますチラシをご確認ください。本館2階エレベーター横の入退院サポート室前にあります配架ラックには持ち帰り可能なチラシを置いておりますので是非ご利用ください。スタッフ一同皆様のご来館をお待ちしております。

(患者・家族総合支援室 暖だん 山崎 綾乃(看護師))



**知って安心!**  
**高額療養費制度**

医療費やお薬代を軽減するための、自己負担限度額や交付制度のことをご存じですか? 社会福祉の専門的立場から、医療ソーシャルワーカーが制度や手続き方法についてわかりやすくご紹介します。

日時: 2026年 5月26日(火) 13時30分~14時15分  
場所: 四国がんセンター 患者・家族総合支援センター 暖だん 憩いのひろば  
対象: 患者・家族 (テーマに異議のある方どなたでも)  
講師: 大西 裕子 (がん相談支援センター 医療ソーシャルワーカー)  
参加費無料・申し込み不要

お申し込みください

【主催・協賛】四国がんセンター 患者・家族総合支援室 TEL:089-999-1209

**がんのリハビリテーション医療**

がんのリハビリテーション医療は、がんと診断された後、治療による合併症や後遺症などを予防する目的で、治療が始まる前または治療を受けた直後から行われることがあります。この機会に、がんのリハビリテーションについて正しく学んでみませんか?

日時: 2026年 6月16日(火) 14時00分~14時40分  
場所: 四国がんセンター 患者・家族総合支援センター 暖だん 憩いのひろば  
対象: 患者・家族 (参加希望のある方どなたでも)  
講師: 理学療法士  
参加費無料・申し込み不要

無理のない範囲で実際に運動療法を体験してみよう

【主催・協賛】四国がんセンター 患者・家族総合支援室 TEL:089-999-1209

## 治療中の働き方に関する相談を実施しています!

~就職・就労相談状況のご報告~ 平成29年4月~令和8年2月

《新しく仕事を探している方のための就職相談》

相談延べ人数 966人 就職延べ件数 151件

《仕事を続けたい方のための就労相談》

相談延べ件数 128件

相談者の声

- 「病院で仕事の相談ができると思わなかった」
- 「話ができ、気持ちが楽になった」
- 「病気になった私でも、できる事があると思えた」

治療と仕事の両立支援



四国がんセンターは、がん患者さんの“働きたい!”をサポートしています。お気軽に、スタッフまでお声掛けください。

ちりょうさ

厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

【お問い合わせ】がん相談支援センター TEL:089-999-1114

## 新任医師・幹部職員紹介

# New Physician



事務部長

**頼本 真一**

この度4月1日付で南岡山医療センターより事務部長として異動してまいりました、頼本真一と申します。私は通算で3回目の四国がんセンター勤務となりますので、院内には私を覚えてくださる方もおられて非常に心強く感じています。

近年の病院経営は厳しさを増しておりますが、当院の基本理念である「患者の立場に立ち人格を尊重し、科学と信頼に基づいた最良のがん医療を提供します」の実現のため、経営基盤の安定化に貢献していきたいと考えておりますので、何卒よろしく願いいたします。



看護部長

**西前 真里**

このたび、4月1日付で看護部長として赴任いたしました西前真里と申します。南岡山医療センターより参りました。出身はお隣の香川県です。愛媛県での勤務は初めてでございますが、職員の皆様に温かく迎えていただき、皆様のやさしさに助けられております。温泉が大好きですので、休日の温泉巡りを楽しみにしております。

当院理念のもと、患者さん一人ひとりの思いに寄り添った看護を大切にしながら、地域の皆様から信頼され続ける存在であるよう、職員の皆様と力を合わせて取り組みたいと考えております。微力ではありますが、皆様のご指導・ご助言を賜りながら、誠心誠意取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願い申し上げます。



臨床研究推進部長

**梅村 茂樹**

このたび、4月1日付で、臨床研究推進部長として呼吸器内科に着任しました、梅村茂樹と申します。3月までは国立がん研究センター東病院に勤務しておりました。岡山大学医学部を卒業後、当院でのがん専門研修や住友別子病院での勤務を経て、再びこの地で診療に携われることを大変嬉しく思っております。肺がんなど呼吸器腫瘍を専門としておりますが、最新の治療を積極的に導入するだけでなく、臓器の垣根を越えた新しい薬の研究・開発にも積極的に携わっていきたいと考えております。「誠実さと丁寧さ」をモットーに、地域の皆様に寄り添った医療を提供できるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。



消化器内科

**奥嶋 優介**

消化器内科を専門としており、特に胆道・膵臓疾患の診療や内視鏡検査・治療に力を

入れております。患者さんに安心して治療を受けていただけるよう、丁寧で分かりやすい説明を心がけ、寄り添った医療を提供してまいります。どうぞよろしく願いいたします。



消化器外科

**松田 直樹**

4月より赴任しました消化器外科の松田直樹と申します。松山市出身で平成25年に岡山大学を卒業後

兵庫県、香川県、岡山県の病院での勤務を経て約20年ぶりに故郷に戻って参りました。生まれ育ったこの地で働けることを大変嬉しく思っております。下部消化管外科が専門であり鏡視下手術（腹腔鏡手術、ロボット手術）を中心に診療しております。地域のみなさまに寄り添った医療を提供できるよう心掛けておりますので何卒よろしく願い申し上げます。



消化器外科

**内藤 宏貴**

4月から消化器外科に赴任いたしました内藤宏貴と申します。松山市出身で愛媛大学を

卒業後、同院の消化器腫瘍外科に入局し、県内の関連病院で勤務して参りました。外科医として大変未熟ではございますが、当院のがん診療に貢献できるよう精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしく願い申し上げます。

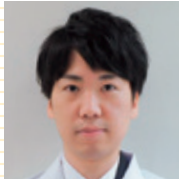


呼吸器内科

**榎崎 弘務**

4月より赴任いたしました呼吸器内科の榎崎と申します。昨年までは広島県福山市で、肺癌や気管支鏡検査、そのほか呼吸器内科一

般を担当しておりました。肺癌は次から次に新しい治療が登場しており、四国がんセンターでその最前線に触れ、少しでも皆さまのお役に立てるように努めてまいります。個人的には今回初めて四国に住むこととなりました。美味しい食事や温泉、自然など、オフにはしっかり満喫したいと思います。まだまだ若輩者ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。



泌尿器科

**橋本 啓佑**

4月から泌尿器科に赴任いたしました橋本啓佑と申します。出身は徳島県で、徳島大学を卒業後、同大学泌尿

器科に入局いたしました。昨年度まで愛媛県立中央病院で勤務しておりました。これまでは泌尿器科領域の悪性腫瘍や一般疾患などの診療に携わってまいりました。今後も患者様のお役に立てるよう、丁寧な診療を心がけてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科

**野崎 雅弘**

4月から泌尿器科に赴任いたしました野崎雅弘と申します。出身は徳島県で徳島大学泌尿器科学分野に入局い

たしました。入局後は大学病院にて1年、高松赤十字病院にて1年勤務し、この度当院にて勤務することとなりました。愛媛県の病院で勤務するのは初めてですが、愛媛県のがん治療に貢献できるように精進して参ります。至らぬ点多々あるとは思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



放射線診断科

**桑原 寛悟**

この4月から放射線科専攻医として赴任しました桑原寛悟と申します。鹿児島県出身で三重大学卒業後、松山

赤十字病院で初期研修を修了し、その後1年間大学にて放射線科の研修を行いました。がん症例が集まる当院で、画像診断をより深く学べることを大変貴重な機会と考えております。まだ未熟ではありますが、臨床の先生方のお役に立てる読影レポートを心がけ、日々精進してまいります。何卒よろしくお願いいたします。



頭頸科・甲状腺腫瘍科

**佐藤 恵里子**

4月より頭頸科・甲状腺腫瘍科に赴任いたしました佐藤恵里子です。愛媛県東温市出身で、平成23年に愛媛

大学医学部を卒業後、同大耳鼻咽喉科・頭頸部外科に入局し、大学病院や関連施設で研鑽を積んで参りました。専門は頭頸部癌で、特に化学療法や放射線治療に注力しています。がん専門病院の機能を活かし、多角的なアプローチで患者さん一人ひとりに最適な治療を提案できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



血液腫瘍内科

**守山 喬史**

4月より血液腫瘍内科に赴任しました守山喬史です。これまで臨床、研究の面から血液学について研鑽を積んでまいりました。新しい環境で多くのことを学びながら、より良い医療を提供できるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。

## ～寄附に感謝申し上げます～

### ○寄付への御礼について

日頃より、当院の医療にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆さまからの温かいご寄付に対し、職員一同心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援は、安全で質の高い医療を提供する上で、大きな励みとなっております。これからも地域医療に貢献できるよう、職員一同努めてまいります。

### ○当院への寄付について

新しい医療機器の導入、療養環境の改善、教育・研究の推進には、地域の皆さまからのご支援が欠かせません。

いただきました寄付は、がん予防の推進、患者さんとご家族の安心につながる環境整備、次世代をになう人材の育成などに役立て、地域全体に還元してまいります。

当院の趣旨にご理解をいただき、ともに「がんになっても安心して暮らせる社会」を築いていくために、皆さまのご支援を心よりお願い申し上げます。



※寄付の手続等についてはこちらから→

# がんセンター ハイ!一句 俳句ポスト



作品が選ばれましたら、四国がんセンターニュース（年4回発行）と選者発行の「俳句ライフマガジン『100年俳句計画』」（隔月誌）へ掲載するほか、当院ホームページ等インターネットやテレビ、ラジオなどの各種媒体にてご紹介させていただきます。

選者：三瀬明子（俳句ライフマガジン「100年俳句計画」発行人）



特選

## すくっと立つがんセンターの小正月

（ひさちゃんさん 82歳・女性）

すくっと立つのは、がんセンターの建物そのものとも読めるし、自分自身やほかの人間とも。正月ではなく、少し落ちついた小正月に、存在の大きさや大切に気づかされたところが腑に落ちました。小正月は1月15日頃。忙しい正月が過ぎて女性が一息つく「女正月」とも呼ばれます。

特選

## 七草を共に味わう四人部屋

（ききょうさん 69歳・女性）

相部屋の四人は、同じように病氣と戦っているので近からず遠からず共感しあえる関係だと思えます。1月7日の病院食はおそらく七草にちなんだもの。それを味わうということはきっと去年今年を同室ですごしたのでしょう。ほのかな連帯感を感じます。七草粥のように味わい深い一句です。

入選

## 初明り軒を接する浦の家

（御転婆さん 66歳・男性）

初明りは、元旦の朝の、白々と明けてゆく光。昔ながらの海沿いの家々の密集ぶりと、そこにさしてくる光。見事な写生句です。

入選

## 息災を検診前の七草に

（鶴崎孝さん 84歳・男性）

七草は無病息災を願って1月7日に食べるもの。病院の食事にも提供されるのでしょうか。息災でありますようにと切実な願いのこもった俳句です。

入選

## 人生はヤル気早起きまけんき根気

（藤田勝長さん 84歳・男性）

「早起き」は行動、「ヤル気、まけん気、根気」は感情。語呂も面白く、心に残りました。ポジティブであることが、元気の秘訣なのかもしれませんね。

入選

## 異国語の飛び交う道後雪しまく

（筒井ゆりえさん 72歳・女性）

松山でも訪日外国人の数が過去最高とか。異国語が頻繁に耳に入るとより実感します。雪の道後、温泉地は魅力的。外国人のみならず日本人も行きたい場所です。

入選

## 癌告知震えたあの日忘れない

（呑気屋さん 70歳・女性）

切実な告白です。どれだけのショックがあったことでしょう。「あの日」だから少し時間がたっているようですね。克服されていることを願って。

入選

## 次の世も逢いたいものよ緋願花

（櫻井宗博さん）

悲願とかけて「緋願花」という表記にされたのですね。「逢」の字からも強い思いを感じます。願いは叶いますように。



## 皆さんの「一句」募集中

患者さんのご要望で生まれた四国がんセンターの俳句ポスト、「ハイ！一句ポスト」。大変ご好評をいただいております。設置場所は、各階エレベーター前、図書コーナー、総合案内、患者支援センター「向日葵」で、作品は随時募集中です。患者さん、ご家族、面会の方、職員、どなたでも気軽にご投稿ください。皆さんの「自慢の一句」「楽しい一句」をお待ちしております。

当院は予約制を行っており、予約患者さんを優先しております

| 診療科                         |            | 月         | 火           | 水        | 木      | 金           |        |
|-----------------------------|------------|-----------|-------------|----------|--------|-------------|--------|
| 消化器                         | 内科         | 食道・胃・大腸   | 梶原(化)       | 仁科(化)    | 仁科(化)  | 梶原(化)       | 小森(化)  |
|                             |            |           | 西出(内)       | -        | 久門(内)  | 日野(化)       | 長谷部(内) |
|                             |            |           | -           | -        | ○日野    | -           | -      |
|                             | 外科         | 肝・胆・膵     | 大鶴          | 浅木       | 奥嶋     | △大鶴         | 浅木     |
|                             |            | 食道・胃      | -           | 羽藤       | -      | 柿下          | -      |
|                             |            | 大腸        | 東原          | 高津       | -      | 池谷          | 松田     |
| 呼吸器                         | 内科         | ○加藤(有)    | 二宮          | 梅村       | 加藤(有)  | 梅村          |        |
|                             | 内科新患       | ○近藤       | ○加藤(有)      | -        | ○二宮    | 近藤          |        |
|                             | 外科         | 土生        | 上野          | 担当医      | 重松     | 重松          |        |
|                             | 予禁煙外来      | -         | -           | -        | ○重久    | -           |        |
|                             | 緩和ケア内科     | 末久        | 成本          | 成本       | 三浦(耕)  | 三浦(耕)       |        |
| 泌尿器科                        |            | 橋根        | 担当医         | 橋根       | 担当医    | 曾我部         |        |
|                             |            | 橋本(啓)     | -           | 辻岡       | -      | 辻岡          |        |
|                             |            | 曾我部       | -           | 野崎/橋本(啓) | -      | 野崎          |        |
| 血液腫瘍内科                      | 守山         | 吉田        | 守山          | 吉田       | -      |             |        |
| 感染症・腫瘍内科                    | ○濱田        | 担当医       | 担当医         | ○濱田      | 担当医    |             |        |
| 婦人科                         | 竹原/坂井      | 予婦人科医師    | 竹原          | 予婦人科医師   | 藤本/菰下  |             |        |
|                             | 横山         | -         | 藤本          | -        | 坂井     |             |        |
|                             | 日比野        | -         | 菰下          | -        | 横山/日比野 |             |        |
|                             | 山下(美)      | 高嶋        | 高嶋(三)       | ○宇野      | 高嶋     |             |        |
| 乳腺外科                        | 河内         | 高嶋(三)     | 河内          | 山下(美)    | 宇野     |             |        |
|                             | -          | -         | △近藤(碧)      | -        | -      |             |        |
| 形成外科                        | △山下(昌)     | ○山下(昌)    | -           | -        | ○山下(昌) |             |        |
|                             | 門田         | 担当医       | 門田          | 担当医      | 東野     |             |        |
| 頭頸科・甲状腺腫瘍科<br>(耳鼻咽喉科)       | 東野         | -         | 橋本(香)       | -        | 橋本(香)  |             |        |
|                             | 佐藤         | -         | 佐藤/増井       | -        | 増井/担当医 |             |        |
|                             | 杉原         | 肉腫(サルコーマ) | 杉原          | -        | 杉原     |             |        |
| 歯科口腔外科                      | 片山         | 片山        | 片山          | -        | 片山     |             |        |
|                             | 古川         | 古川        | 古川          | 古川       | 古川     |             |        |
|                             | 加藤(翼)      | 加藤(翼)     | 加藤(翼)       | 加藤(翼)    | 加藤(翼)  |             |        |
| 放射線                         | 診断科        | 清水        | 桐山          | 清水       | 桐山     | 細川          |        |
|                             | 治療科        | 濱本        | 濱本          | 長崎       | 神崎     | 神崎          |        |
| 予麻酔・疼痛外来                    | 原田         | 正岡        | -           | -        | 武智     |             |        |
| 併存疾患センター<br>【※1は院内紹介のみ】     | 予リンパ浮腫外来   | -         | ○山下(昌)      | -        | -      | ○山下(昌)      |        |
|                             | 予リンパ浮腫ケア外来 | -         | リンパ浮腫ケア(自費) | -        | -      | リンパ浮腫ケア(自費) |        |
|                             | 皮膚科        | 藤山        | 藤山          | 垣生       | 藤山     | 藤山          |        |
|                             | 精神科        | -         | 越智(2,4,5週)  | -        | -      | -           |        |
|                             | 眼科         | -         | ○大橋※1       | -        | -      | ○大橋※1       |        |
|                             | 循環器内科      | ○倉田       | ○倉田/△東※1    | ○倉田      | ○倉田    | △吉井・船田※1    |        |
|                             | 内分泌内科      | ○宮崎※1     | -           | ○松原※1    | -      | -           |        |
|                             | 糖尿病内科      | -         | ○川村/高門※1    | ○高門※1    | -      | ○高門/池田※1    |        |
| 脳神経外科                       | -          | -         | -           | ○國枝・井上※1 | -      |             |        |
| 予ストーマ外来                     | 橋根         | 高津        | ○橋根         | ○小嶋      | -      |             |        |
| 予原発不明がん診療科                  | -          | △青儀(2週)   | -           | △杉原(4週)  | -      |             |        |
| 予セカンドオピニオン                  | 担当医        | 担当医       | 担当医         | 担当医      | 担当医    |             |        |
| 予がんゲノム医療外来                  | 担当医        | -         | 担当医         | -        | -      |             |        |
| 予遺伝性がん診療科<br>【※2はサーベイランス外来】 | △山本        | ○山本※2     | ○山本         | ○山本※2    | 山本     |             |        |
| 予病理外来                       | -          | △山本       | -           | ○大住      | -      |             |        |
| 予がん看護外来                     | 担当看護師      | 担当看護師     | 担当看護師       | 担当看護師    | 担当看護師  |             |        |
| がんドック                       | 酒井         | 徳永        | 酒井          | 徳永       | 酒井     |             |        |

予…予約のみ ○…午前のみ △…午後のみ ★…奇数週 ☆…偶数週 (化)…化学療法担当 (内)…内視鏡治療担当  
※診療担当は変更する場合がありますので、事前にご確認ください。



天赦園 (宇和島市)  
撮影：高市 瑞穂

### 外来診療一覧表

- 新患受付時間 7:30~12:00
- 診療時間 8:30~17:15
- 休診日：土・日・祝日及び年末年始

担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください

### 環境

“いで湯と城と文学の街”ここ愛媛の松山はノスタルジックあふれる城下町。当院はこの城下町の南東に位置し、東に霊峰石鎚、北に道後温泉、西に伊予灘を望み、自然に恵まれた最高の療養環境に立地しています。交通機関も伊予鉄巡回バスの運行など便を増やすことで来院も便利になりました。今後とも患者さんの視点に立った細かな配慮を心がけ、西日本を代表する「がん専門病院」として精進いたします。



院内にてFREE Wi-Fiがご利用できます。

### 四国がんセンター【公式】

Facebook



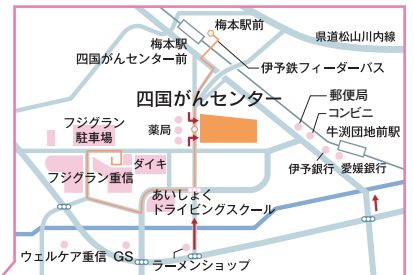
Instagram



### 四国がんセンター

〒791-0280  
愛媛県松山市南梅本町甲160  
TEL:089-999-1111  
FAX:089-999-1100  
https://shikoku-cc.hosp.go.jp

### TRAFFIC ACCESS 交通のご案内



#### 車でのお越しの場合

- 松山空港から車で 約45分
- JR松山駅から車で 約30分
- 松山市駅から車で 約25分
- 松山自動車道
  - 松山インターから車で 約20分
  - 川内インターから車で 約20分
  - 東温スマートインターから車で 10分

#### 電車・バスでお越しの場合

